記者発表資料

平成 22 年 9 月 24 日
東 北 地 方 整 備 局
仙台河川国道事務所

渇水情報（第２号）

～東北地方整備局渇水対策仙台支部（注意体制）を解除～

東北地方整備局仙台河川国道事務所は広瀬川の水量が減少したため、７月２６日より渇水対策仙台支部（注意体制）を設置しておりましたが、９月１１日から昨日までの降雨により、大倉ダムの貯水率が平年並みに回復したこと、また広瀬川の水量が安定的に回復していることを勘案し、９月２４日９時注意体制を解除しましたので報告します。

（参　考）

広瀬川の基準観測所　広瀬橋では約 42.4 ㎥／ｓ（９月 24 日９時）となっており、正常流量である２㎥／ｓ（９～１０月は２．５㎥／ｓ）を上回っております。

なお、注意体制の期間は７月２６日から９月２４日までの６０日間でした。

大倉ダムの貯水量　７，６１６千ｍ３（２４日、９時時点）
８，１０５千ｍ３（過去１０年平均の貯水量）
９４．０％（過去１０年平均に対する率）
５０．８％（利水容量 15,000 千 m3 に対する率）

発表記者会：宮城県県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会

（問い合わせ先）
仙台河川国道事務所
仙台市太白区郡山五丁目６－６（TEL　022-248-4131）
河川管理課長　　畑山　作栄　（内線　331）
占用調整指導官　　渡 辺　靖　（内線　303）